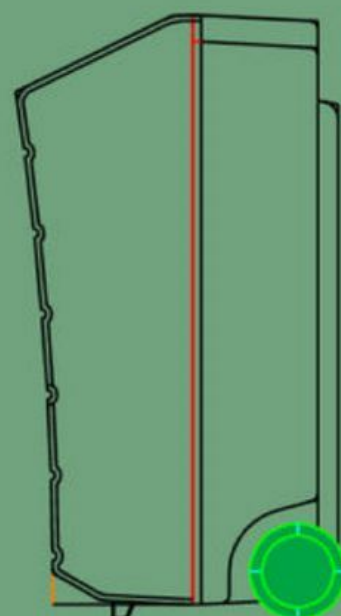


株式会社サラム・アンド・サラム-排水ろ過装置

装置仕様・電気回路図



取扱説明書



1. 排水処理装置の取扱いおよび基本事項

1 はじめに

本装置は専門家・非専門家のいずれも使用できますが、専門的な保守を必要とする整備は、必ず熟練した専門者が行ってください。

本取扱説明書には、本装置の作業者および保守担当者のために、次の事項を記載しています。

- 第1章：装置の運転開始前に必要な安全事項
- 第2章：装置の取扱いおよび設置時の点検事項
- 第3章：装置の操作方法および運転方法
- 第4章：消耗品および整備に関する事項
- 第5章：フィルターに関するMSDSおよび各種試験成績書

2 安全上の注意

本装置には、予期せぬ事故から人と装置を保護するための安全装置が備えられています。ただし、安全装置だけに頼らず、以下の注意事項をよく読み、理解してから操作してください。

3 基本的な注意事項



- ・ ガスが漏れる可能性のある場所には設置しないでください。爆発や火災のおそれがあります。
- ・ 工業用の油煙や金属粉じんが多い場所には設置しないでください。
- ・ 電源コードを引っ張ったり、濡れた手でスイッチやプラグに触れたりしないでください。感電のおそれがあります。
- ・ たこ足配線は使用しないでください。
- ・ 殺虫剤や可燃性スプレーを装置へ噴霧しないでください。人体への影響、故障、感電、火災の原因になります。
- ・ 装置を分解・修理・改造しないでください。修理が必要な場合は、製造元または専門技術者へ依頼してください。
- ・ 周囲との間隔を40cm以上確保して設置してください。
- ・ 使用中は、少なくとも年1回の専門点検を受けてください。
- ・ 緊急時にもすぐ操作できるよう、スイッチの位置を把握してください。
- ・ 安全表示や注意表示が汚れたり、破損・脱落したりしないよう管理してください。
- ・ 傾斜地や手すり付近など、危険要因のある場所では使用しないでください。
- ・ 設置場所には、一般の人が立ち入らないよう柵などを設けてください。
- ・ 装置に過度な衝撃を与えないでください。

4 電源投入前の注意事項



- ・ ケーブルが床に触れる場所では、異物による損傷や漏電を防ぐため保護してください。
- ・ 電源コードを無理に曲げたり、重い物で押しつぶしたりしないでください。感電や火災のおそれがあります。
- ・ 被覆が傷んだケーブルや電線は使用しないでください。漏電・感電の原因になります。
- ・ 主電源ケーブルは付属品を使用し、接続端子へ確実に接続されていることを確認してください。
- ・ 電源ケーブルを接続した後、使用する機能のスイッチをONにしてください。
- ・ 電源プラグ、コンセント、端子などが確実に接地されていることを確認してください。

5 運転開始前の注意事項

- ・ 建設・建築・解体・除去・内装工事など、頻繁な移動や強い衝撃が想定される現場では、使用前に電気系統の安全を確認してください。
- ・ 冬季は、装置内部の汚水凍結防止用ヒーターの誤作動による火災を防ぐため、十分な安全措置を講じてから使用してください。

5. 使用開始前の注意事項（続き）



- ・ 冬季は、装置内部の汚水凍結防止ヒーターの誤作動により火災のおそれがあります。十分な安全対策を講じてから使用してください。
- ・ 使用前に操作盤の非常停止スイッチを解除し、電源スイッチを入れたときに前面の赤色ランプが点灯することを確認してください。
- ・ 自動排水機能を使用する場合は、集水槽の水が満水位に達して排水装置が作動したとき、緑色ランプが点灯することを確認してください。
- ・ メインポンプなどから異常な音がしないことを確認してください。
- ・ 損傷した電源コードやプラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。
- ・ 装置の上に工具や物を置かないでください。吸入口・排出口へ落下すると故障の原因になります。

6. 運転時の注意事項



- ・ 操作盤や装置内部を点検する場合は、必ず運転を停止して電源を遮断してください。運転中は身体の一部を装置内部に入れないでください。
- ・ 作業を妨げるエラーが発生した場合は、電源を遮断して装置を停止し、原因を取り除いてから再使用してください。
- ・ 装置の上に乗ったり、運転中にむやみに移動させたりしないでください。
- ・ 電源プラグを抜いて装置を停止しないでください。故障や感電の原因になります。
- ・ 異常音、焦げた臭い、煙などが発生した場合は、直ちに電源を遮断して点検してください。
- ・ 停電時は主電源を切ってください。
- ・ 装置内部に水がたまらないよう注意してください。
- ・ 必ずフィルターを装着した状態で運転してください。
- ・ 吸入口へ硬い異物が入らないようにしてください。フィルター損傷の主な原因になります。
- ・ 運転中はロックを解除したり、カバーを開けたりしないでください。
- ・ 雪や雨などの悪天候時に屋外で使用しないでください。
- ・ 安全が確保されていない移動設備・装置上では運転しないでください。
- ・ 子ども、歩行者、一般の方が多く利用する場所では運転しないでください。

7. 終了時および保守時の注意事項



- ・ 長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
- ・ 作業終了後は、電源を切る前に残水処理装置を作動させ、装置内部の残水を完全に排出してください。
- ・ 残水を完全に排出した後、操作盤の主電源を切り、最後に電源プラグを抜いてください。
- ・ 安全に使用するため、装置の内外を定期的に清掃してください。
- ・ 作業前に現場監督者から十分な安全指示を受けてください。
- ・ 保守作業は原則として主電源を遮断してから行ってください。
- ・ 電気装置の保守は、安全整備手順を理解した担当者または適任者が行ってください。
- ・ フィルター交換は電源を切ってから行い、指定性能に適合するフィルターを使用してください。
- ・ 装置が浸水した場合は使用を中止し、専門業者へ点検を依頼してください。
- ・ 装置を水、ベンジン、シンナー、アルコールなどで直接拭かないでください。

警告

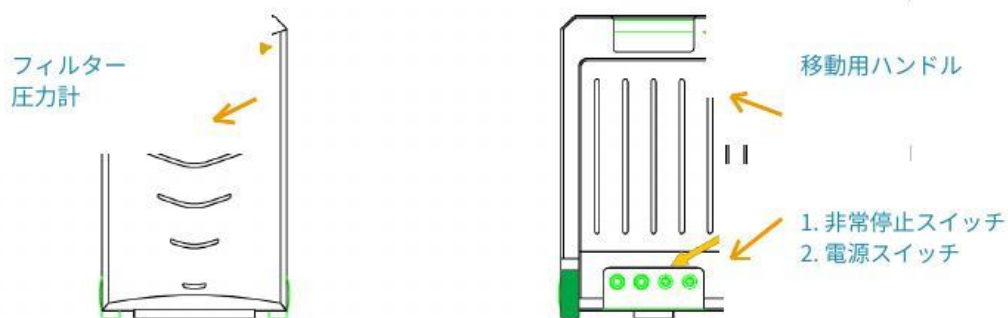
保守・修理は、訓練を受けた担当者または専門業者が行ってください。

警告

使用前に取扱説明書を読み、安全事項と操作方法を理解してください。

3. 排水ろ過装置 各部名称

1. 各部名称



2. 前面操作部の表示および作動



- ① 電源プラグを接続すると、装置は全自動で作動します。
- ② 各フィルターの圧力計が70%以上を示した場合は、フィルターを交換してください。

3. 背面パネルの表示



- ① 集水槽に接続されたホースを給水口へ接続してください。シャワー後の汚染水を本装置が吸引します。
 - ② 集水槽のセンサーソケットへ接続してください。水位を自動調整し、集水槽内の残水を完全に排出します。
 - ③ 電源ケーブルを接続してください。本装置へ電源を供給します。
 - ④ 排水口に一般ホースを接続してください。ろ過処理された水を排出します。
- ※ 各ホースとケーブルは形状が異なるため、誤接続を防止できます。
※ センサーは微弱電流で作動する安全構造です。
※ 冬季は温度センサーとヒーターが作動し、装置内部を凍結しない温度に維持します。
※ 衛生設備、主電源線、集水槽センサー線、給水管、排水管が本体へ確実に接続され、正常に作動することを確認してください。
※ 排水口からの水は下水口へ接続し、冬季の凍結による転倒などの危険を防止してから装置を運転してください。

注意事項

点検時は、必ず非常停止スイッチを押すか、電源を切ってください。

装置が停止していても、非常停止スイッチまたは電源を切らずに点検すると、センサーやスイッチが身体や周辺物を検知し、装置が意図せず作動するおそれがあります。

2. 排水ろ過装置の設置に関する基本事項

1. 取扱方法および持ち上げ位置

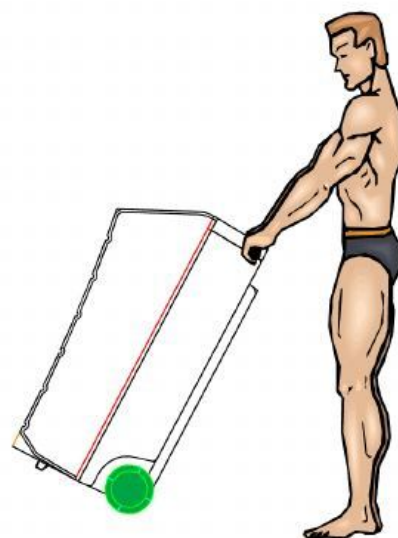
ア) 装置を取り扱う際の注意事項

✓ 装置の積み降ろしは、健康な成人2名以上で行ってください

✓ 移動するときは、装置を後方へ15度以上傾け、
ゆっくり移動してください

イ) 持ち上げ位置

装置を停止した状態で、ゆっくり移動してください
(破損に注意してください)



2. 設置

ア) 作業環境および設置

✓ 作業場所の周囲は、十分な空間を確保してください

✓ 衛生設備（水シャワー室）の周辺で、電気による火災の危険がない場所に設置してください

✓ 電源および水シャワー室下部の集水槽センサー端子を確実に接続し、漏電やセンサーの誤作動を防止してください

✓ 集水槽の排水口と本装置の給水口を接続し、汚染水が装置へ流入できるようにしてください

✓ 本装置の排水口から出る水は下水口へ排出し、作業場周辺に水がたまらないようにしてください
(冬季は凍結による転倒事故のおそれがあります)

✓ 装置は平らな床面に設置してください

✓ 設置後、電源プラグを接続してください

✓ 設置が完了したら、安全のため周辺を整理してください

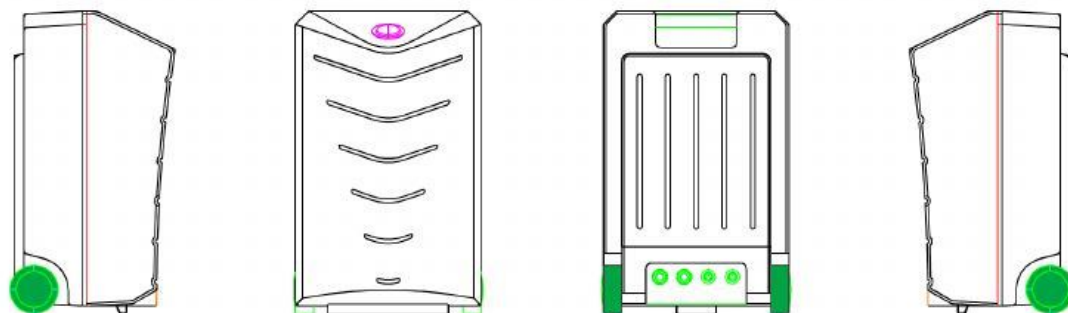
イ) 運転前の点検事項

✓ 各機器間の接続が確実であることを確認してください

✓ 装置への電源供給状態と、フィルターが適切に装着されていることを確認してください

✓ 使用する装置の仕様が、作業場所の条件に合っていることを確認してください

✓ 安全装置の性能・作動状態・効果を総合的に点検し、安全を確保してください



排水ろ過装置 仕様表および装置仕様

品番 Serial	ASEP-DBZ-AA0010-
製造日 Date	
定格 Rating	100V / 60Hz / 380W / 10L/min
寸法 Size	460 x 450 x 790 mm
モデル名 Model	ASEP-1101
重量 Weight	36 kg

区分	項目	仕様
基本仕様	製品名	排水ろ過装置
	モデル名	ASEP-DBZ-AA0010-
	寸法	960 x 610 x 650 mm
	重量	36 kg
	騒音	58 dB
装置仕様	モーター電圧	100V/60Hz
	電流・出力	380W / 1/6HP
	ポンプ全揚程	15 m
	吸上高・押上高	8 m / 7 m
フィルター仕様	プレフィルター：寸法	長さ250 x 内径30 x 外径62 mm
	プレフィルター：ろ材	Polypropylene & High Density P.P
	プレフィルター：ろ過精度	100 μ m
	カーボンフィルター：寸法	長さ250 x 内径30 x 外径62 mm
	カーボンフィルター：ろ材	A.C.F sheet, Depth Carbon pad, M.B
	カーボンフィルター：ろ過精度	-
	プレフィルター：寸法	長さ250 x 内径30 x 外径62 mm
	プレフィルター：ろ材	Polyether Sulfone
	プレフィルター：ろ過精度	平均 0.1 μ m
その他仕様	制御方式	集水槽制御／全自動電子制御方式
	表示・機能	電源ランプ／作動ランプ
	本体構造	耐水性に優れた強化プラスチック製ボディ

3. 排水ろ過装置の配線図

